

令和元年度第12回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和2年3月18日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師)

事 務 局 : 田村 直彦(保健環境研究所 疫学情報部長)
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)
酢谷 奈津(保健環境研究所 専門研究員)

4 議 題 (進行:加藤委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供すべき事項について
- (4) 情報提供(月番委員専門分野から)
- (5) その他

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○新型コロナウイルス感染症について

(加藤委員)

・主に県民に対する正しい感染予防の啓発、高齢者施設に対する具体的な感染対策の周知、家庭内での感染拡大防止のための具体的な対策の提示、現時点の相談・受診体制の周知などが必要である(詳細は資料のとおり)。

(保健環境研究所)

・当所において一般向けの啓発資料の作成を予定している。現時点の骨子案を提示。主な内容は次のとおり。

- ・基本的な感染予防対策の啓発(手洗い、人込みを避けるなど)
- ・体調不良時の外出自粛

- ・家庭内での感染拡大防止対策（ポイントの提示と参考資料のリンク）
- ・高齢者施設における感染予防対策（ポイントの提示と参考資料のリンク）
- ・相談・受診体制と相談の目安

（委員からのコメント）

- ・クラスター発生のリスクのある場所として、専門家会議においても「近距離での会話や発声がある場所」、「手の届く距離に多くの人がいる場所」、「密閉空間で換気が悪い場所」の3つの条件が示されているので、そのような場所を避けるよう具体的に表記するのがよいのではないか（案では「人込みを避ける」という表現のみ）。
- ・高齢者施設の対策として、職員が体調不良時に出勤しないことが重要であるので、そのことを明確に表記した方がよいのではないか（案では「職員の健康管理」という表現）。

（保健環境研究所）

- ・ご意見を踏まえ内容を修正し、啓発資料を作成したい。

○感染症発生動向調査週報の様式変更について

（保健環境研究所）

- ・当所で発行している感染症発生動向調査週報の様式を見直し、来年度から新様式にて運用を開始したいと考えている。1月の部会で一度変更案を提示したところ、様々なご意見をいただいたので、それを踏まえて再検討した。
- ・現時点の案を提示。主な変更点は次のとおり。

＜情報編＞

- ・定点疾患・全数疾患を視覚的に分けて見やすく表示
- ・週によっては定点疾患のトピック、全数疾患のトピックを掲載する
- ・「インフルエンザ注意報・警報」「ノロウイルス注意報・警報」発令時の表示
- ・月報対象の定点疾患は表（数字の羅列）をやめてグラフで表示

＜データ・グラフ編＞

- ・（定点疾患）RS ウイルス感染症のグラフに抗原検査の保険適用年齢に関する注釈を追加
- ・（全数疾患）県内新規報告例については患者情報（年齢群、病型等）を掲載
- ・（全数疾患）新規報告例とは別に、県内データ（本年累計、前年同期累計等）と全国データを掲載した一覧表を追加

（委員からの意見）

- ・見やすくなってよいと思う。全数疾患の患者情報も関心のある人には参考となると思われる。

【情報提供すべき事項について】

○新型コロナウイルス感染症に関する各種情報

- ・日本プライマリ・ケア連合学会「診療所・病院のプライマリ・ケア 初期診療の手引き」
- ・日本環境感染学会「高齢者福祉施設の方のためのQ&A」、「新型コロナウイルス感染症が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項」

【情報提供（月番専門分野から）】

- ・日本感染症学会 HP にて新型コロナウイルス感染症の国内症例が報告されている。

【その他】

(保健環境研究所)

- ・来年度の感染症発生動向調査部会に関する連絡